

第14回のインタビューは、大竹市消防団小型ポンプ操法大会で
3回連続優勝された**大竹市消防団 第4分団**の方々です。



第14回 スマイル インタビュー



第4分団は大竹市代表として、
来年度広島県大会出場にむけ練習に
取り組み始めています。選手の皆
さんと分団一体の姿をご紹介します。

練習でご苦労されたことは？

仕事の都合で選手全員が揃いに
くい事です。業種、勤務形態が違
うので、一部選手での訓練に経験
者が代打で入ったりしながら、早
朝5時からしたこともあります。

この分団の特徴は、経験者豊富
で、指導者に恵まれていること。
2ヶ月で52回の練習や夜9時以降
も含め、交代勤務の時間調整に苦
慮しながらも、分団全体で支えな
がら行っています。

先輩として選手メンバーはどうで
すか？

最初は、実にしごきがいがある
なー、鍛えがいがあるなーと思い
ましたが、大会前には、過去の僕
たちより上をいくまで育ってくれ
ました。



〈分団長〉 川本啓一 〈指揮者〉 田丸弘樹
〈1番員〉 太田悠一 〈2番員〉 小田上尚典 〈3番員〉 土本 智
〈補 欠〉 今田光明 〈補助員〉 榊田財得 (敬称略)

自分も出てほしいと思っていま
したが、譲ってよかったと思いま
した。

指導者から見ても、自分たちより成
長したといえるのは、先輩冥利に尽
きますね。

本日はお忙しい中、地域の防災訓
練や活動についてお話をいただき
ましてありがとうございました。

発行・平成28年11月1日 大竹市議会

広島県大竹市小方二丁目11-1

TEL 0827-5912183

あ と が き

早いもので昨年広報広聴特別
委員になり1年がたち、今年も
余すところあと2ヵ月。議会の
開催予定も来月の12月定例会を
残すだけとなりました。

議会改革を進めるためにも、
議会報告会など開き、前進する
議会を目指してまいりました。

これからも引き続き、「笑顔・
元気 かがやく大竹」をテーマ
に、議会も邁進してまいります。

私たち広報広聴特別委員も正
確な情報を伝えることを念頭に
置きながら、市民の皆さまに市
政の現状について、より理解を
深めていただけるよう努めます。

また、期待や疑問にこたえ得
る議会となるために、そして市
民の皆さまの声を議会に反映さ
せるためにも、この議会だより
の果たす役割を最大限発揮でき
るよう、読みやすく、見やすい
ように改善を図っていききたいと
思います。

ご意見ご感想などがござい
ましたら、ぜひお寄せ下さい。
どうぞよろしくお願い致し
ます。



広報広聴特別委員

委員長
副委員長

山崎 年一
和田 芳弘
末広 和基
賀屋 幸治
北地 範久
西村 一啓
日域 究

市議会だよりは市ホームページ
にも掲載しています。